



レバ・アンブラー異文化体験ゲーム

文化を理解する

レベル: A/B/C

あなたはレバの人間です

レバの人たちはとても人なつっこい。

レバの人たちは行動的。外国の人と話しをするのが大好き。

レバの人たちは長話をしない。次の新しい人に移る。

レバの人たちは握手するのが好き。そうすると人と触れ合えたと思える。

見知らぬ人でも、相手が手をさしのべてこなかったら、レバの人たちは手をつかみに行く。

レバの人たちは話す時に相手の顔をまっすぐ見る。

レバの人たちはだれでも、苗字ではなく下の名前でよんでも失礼ではないと思っている。

男も女も同じように行動するが、レバの男の子は外国の女の子と話すのが一番好きだし、レバの女の子は外国の男の子と話すのが一番楽しい。

レバの人たちはできるだけたくさんの外国人と話したい。長話はしない。レバは「たくさんの新しい人と話した。もう今では仲よしだ」と言いたいのだ。

あなたはアンブラーの人間です

アンブラーの人たちだけでかたまる。アンブラーの人たちと一緒にいるのが楽しい。

アンブラーの人たちは決して新しい人に自分から話しかけない。話しかけられたら話す。話すときは腕を組む。

アンブラーの人たちはとても礼儀正しい。「お初にお目にかかります」「あなた様」と必ず言う。やたらと体に触れるのは失礼だと考えられている。

アンブラーの人たちの間では男の子の方が弱くて、女の子に守られている。

アンブラーの男の子は知らない女の子と目を合わせるのを避ける。知らない女の子に直接話しかけない。アンブラーの女の子を介して話しかける。

アンブラーの男の子は知らない男の子と話してもよいが、相手の方が話しかけてきた時だけ。相手の目を見てもいい。

ウィリアム・クライドラ (1994) 対立が学ぼう ERIC 国際理解教育センター
編訳, R. →